

2024年度第1回教育イノベーション大会運営委員会議事録

- I. 日時 令和6年7月23日(火) 17:00~19:00
- 場所 Zoom 会議室
- II. 出席者 向殿委員長、二瓶委員、井川委員、望月委員、今泉委員、寺田委員、阿部委員、原田委員、藤本アドバイザー、尾崎アドバイザー、木村アドバイザー
事務局：井端事務局長、野本
- III. 検討事項
 1. 令和6年度「私情協 教育イノベーション大会」の開催要項について
 - (1) 開催日、開催趣旨について確認がされた。
 - ・ 今年度は、9月4日、5日、6日にオンラインで開催することにした。
 - ・ テーマは、「学びの転換期、変革に挑む覚悟を問う」とし、急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方の観点から、大学としてどのように変革に向き合うべきか考察することにした。
 - (2) 全体会について確認がされた。
 - ・ 全体会は、講演形式で進め、①我が国の教育をめぐる現状・課題・展望、②変革の世紀を成就する教育DXを考える、③国等が取組むデジタル人材の育成・確保、④リカレント教育(社会人の学び直し)の推進、⑤大学生のChatGPT利用実態、⑥学びの質向上を目指す生成AIの活用の構成案が提示され、内容が確認された。
 - (3) 分科会について確認がされた。
 - ・ 分科会は、オンライン2会場で9の分科会を構成した。
 - ・ 各分科会は、A:生成AIを活用した授業の紹介、B:生成AIを活用した業務DX加速化の紹介、C:生成AIの利用を前提とした成績評価の在り方、D:ICT活用によるリカレント教育の紹介、E:ICTによる学びの個別最適化、質向上を目指す取組み、F:デジタル教材の著作権対応と生成AIへの対応、G:AI時代におけるアントレプレナーシップ教育、H:データサイエンス・AI授業のワークショップ、I:メタバースを活用した大学授業の紹介の構成・概要が確認された。
 - ・ 委員から以下のような意見があった。盛沢山の内容で、生成AI関連が多いが、以前の抑々論から事例紹介中心となっており、課題の例として学生がレポートの時に推敲ができないことがあげられた。
 - ・ オンライン開催のため、質問が出にくく、質問・意見をすいあげる工夫が課題である。
 - ・ 質疑の時間が少ないとも考えられ、例えばラウンドテーブル形式で参加者に話をさせてはどうか。また、テーマを絞ってはどうか。
 - ・ 昨年の文科省のデータサイエンス説明では質問・意見があり、文系大学でもデータサイエンスを求める受験者もみられる。
 - ・ 生成AIは、底上げができれば使っていけると考えており、データサイエンスは、生成AIの活用が求められていることと、BIツール利用により次のステップに進むのではないかと考えている。
 2. 教育イノベーション大会3日目発表について
 - ・ 申込13件について、概要を確認して項目分けを行い、発表者を確定しが、1件のタイトル修正を発表者に相談することにした。なお、委員会時点では発表申込締切前のため、以降の申込についてメールでの発表者確定とすることにした。
 - ・ 2会場で構成を予定するが、最終申込状況により開始時刻、会場数、発表順を決めることにした。
 3. 役割分担
 - ・ 三日間それぞれの司会進行と開催報告原稿を委員での分担を決定した。
- V. 今後のスケジュール
講師の調整をした上で開催要項を大学に発送するしている。また、教育イノベーション大会は、9月4日、5日、6日に私学会館からZoomオンラインで開催する予定にしている。